



柏葉



学校だより 第25号
 令和4年10月21日(金)
 福島県白河市立東北中学校
 発行責任者 校長 渡邊泰昌
 「自分の未来を切り拓け！」

柏葉祭 「自分を信じて前へ進め！」



1学年1組



2学年1組



3学年1組



1学年2組



2学年2組



3学年2組

福島民報新聞掲載 若い世代 (No. 3)



若い世代

会話が苦手：
笑顔心がける

白河市・長久保汐季
 (中学生 14)
 私は人と会話を続けることが苦手です。会話が苦手なため、友達の数も多くはありません。ですが、友達と笑い合ったり、

遊びに出かけたりすることとは、とても好きです。苦手を克服するために日頃から意識していることがあります。それは、常に笑顔で生活することです。笑顔で生活することで相手の記憶に残ったり、周りからの印象が良くなったりして、自然と話しかけてくれる人も増えました。その影響で、お互い共通していることが見つかり、友達が少しずつできるようなりました。

私は、日常に笑顔を加えることで、今までの生活を变えることができました。ですが、まだうまく話題を提示するのが苦手なので、これから少しずつでも成長できるように頑張りたいです。

若い世代

ソフトボールで大切な仲間知る

白河市・吉成 彩瑛
 (中学生 14)

私は、特に将来への目標は決まっています。が、高校でもソフトボールを続けたいと思っています。

私にとってソフトボールは、唯一夢になれる

ものです。小学六年生の頃、友達に誘われて初めてソフトボールというものに触れました。それから中学生になってソフトボール部に入り、これまで約三年間ソフトボールとともに頑張ってきました。そんな中で、ソフトボールのおかげで仲間の大切さに気付くことができました。

それまでは人と壁をつくってしまい、相手を分

かろうとする努力をしてきませんでした。ですが、仲間とソフトボールを一緒に頑張っていく中で、仲間のすてきなところを見つかることができ、心の壁をなくすることができました。

残りの中学校生活、貴重な時間を、かけがえない仲間とともに、ソフトボールを糧にして走り抜いていきたいと思っています。